

オーバードーズの危険性について

近年、市販薬によるオーバードーズが10～20代の若者を中心に増加しており、社会的に問題となっています。オーバードーズとは過量服用とも言って、薬の量や飲み方を守らずに短時間に多量の薬を飲んでしまうことです。オーバードーズの結果、長い治療が必要になったり、最悪の場合死に至ることもあります。



オーバードーズって…
市販薬だから安全？ 不安が解消される？
幸せな気分になれる？
やめようと思えばすぐやめられる？

その考え、
間違ってます！



オーバードーズって
そんなに危険なの？



下記はオーバードーズの
主な症状です

立ちくらみ・めまい

吐き気・おう吐

錯乱状態

呼吸困難

幻聴・幻覚

上記以外にも使用した薬の種類によっていろいろな症状が出ます。
オーバードーズは、肝臓、腎臓などの臓器や脳に多大なダメージを与え、命をおびやかす大変危険な行為です。

薬は飲み方（用法）や1回に飲む量（用量）が決まっています。市販薬であっても、治療目的以外の間違った使い方をすることは大変危険です！

不安の解消や幸福感を得る目的で薬を使用しても、その効果は決して長くは続きません。そして同じ量ではだんだんと効果がなくなり、大量に薬を使用するようになるのです。

さらに大量に薬を使用し続けると、薬物依存の状態になり、自分の意志では簡単にはやめられなくなってしまいます。



「薬物乱用」という言葉を聞くと、大麻や覚醒剤などの違法薬物を想像すると思いますが…
市販薬を治療目的以外で使用する行為も「薬物乱用」です!!



←詳細はこちらの区ホームページへ

薬は、用法・用量を守り、正しく使用しましょう！

お問合せ 台東保健所 生活衛生課 医務薬事衛生担当 TEL 03-3847-9416

かしこく使おうジェネリック～ジェネリック医薬品への切り替えにご協力を～

ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、先発医薬品と同等の成分・効果を持つと国に認められた医薬品です。先発医薬品と比べて薬代が軽減されやすく医療費の節減につながります。ジェネリック医薬品を希望する方は、医師や薬剤師に相談してください。

ジェネリック医薬品差額通知の送付

区では、現在処方されている先発医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合、薬代がどの程度安くなる可能性があるかをお知らせする通知を送付しています。

対象 国民健康保険、後期高齢者医療制度加入者のうち、薬代が一定額以上軽減されると見込まれる方。

※加入者全てに送付するものではありません。

時期 国民健康保険 年1回 3月
後期高齢者医療制度 年2回 6月・12月



ジェネリック医薬品(後発医薬品)のある先発医薬品の支払いについて

ジェネリック医薬品（後発医薬品）がある薬で、先発医薬品の処方を希望される場合は、**特別の料金（先発医薬品と後発医薬品の薬価の差額の4分の1相当）をお支払いいただく仕組みが令和6年10月から導入されました。**

詳細については、右記の二次元コードから、厚生労働省のホームページをご覧ください。



お問合せ 国民健康保険課 庶務係 TEL 03-5246-1251
後期高齢者医療係 TEL 03-5246-1254

大規模災害時のご協力をお願いします！

大規模災害時には、区内に大勢の負傷者が出るのが予想されています。緊急医療救護所において、より多くの命を救うためには医療従事者の皆様のご協力が必要です。

区では年間を通じて訓練や研修などを開催し、医療従事者の方の災害医療の理解を深める取組を行っています。ご興味のある方は下記担当までご連絡ください。

対象：区内在勤・在住の医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、薬剤師など
※全ての医療従事者の方

緊急医療救護所の運営にご協力をお願いします！



お問合せ 健康課 病院担当 TEL 03-5246-1168



左記の二次元コードを読み込むとメールフォームが立ち上がります。

健康・医療に関する情報は、広報たいとうや区ホームページのほか、下記でも確認できます。

たいとうメールマガジン ▶
「たいとうヘルスケアニュース」
「たいとう食の安全通信」等



医療・介護情報検索システム ▶
区内医療機関・薬局の閲覧・検索



医療情報ネット(ナビィ) ▶
全国の医療機関・薬局の
公的検索システム

